

二前項之入禁區域ヲ飲食及其他軍需品ヲ購入並ニ勞務者徵備
ヲ禁ス

三國民學校ノ消毒兩テハ軍医計畫實施スレ

四新整備地區ノ湧水井ハ武兵團ノ調査豫トハ總テ「煮沸飲用適」ニテ

飲用通ニ派ス依テ各隊ハ生水飲用ヲ絕對禁止ス又當分肉生肉

(野菜豆腐清物)ノ食用ヲ禁止シ飲食物ハ總テ十分煮熟シタル

後供給スル

五宿營ニ方リ各隊カチ地方人ト接觸ヲ避ケル

六廁炊事場塵捨場ヲ清潔シ蠅ヲ発生ヲ豫防スル

七各隊ハ蠅驅除(蠅取紙)ハ蠅叩キ使用ヲ勵行スル

ハ各個人ノ豫防法ヲ徹底シ常身沐浴服食器ヲ保清力ヲ積極

的鍛鍊ニ依リ抵抗力ヲ高シト共ニ早期受診ニ力セル

九地方側ニ患者(疑)發生ヲ知レルトキハ直ニ本部ニ報告スル

一地方側ヲ指導シ防衛地區ノ衛生成績向上ニ努力スル

中隊夜命三松夜命第三七號

中隊夜命三松夜命第三七號

十一月六日

一在玉城村申込部隊並地方側ニハ十月廿日以降腸チフスバチフス赤

痢患者多數現存猖獗ヲ極メ有ルモ如シ

二中隊ハ石五夜命第五號ニ基キ第二期防疫ヲ實施シ至要嚴シ

防疫軍紀下前項傳染病隊内侵入ヲ防遏セントス

三指揮班各隊(配屬部隊ヲ含)ハ任地到着時ヲ直ニ第二期防疫ヲ實

施シ病毒侵入防止傳染終路ノ隔絶傳染源ヲ排除個的衛生法ヲ

徹底シ傳染病豫防ヲ完璧ヲ期スル

四竹内衛生長ハ本部ヲ防疫諸材料ヲ受領宿營地々區内ノ防疫萬

道徳ヲ期スル

五防疫委員長細部指示及中隊防疫圖ニ細部事項ハ各小隊

長指揮班長ヲシテ指示セシム

六予ノ桑江中隊指揮班在リ

中隊長

松田中尉

作 命四石五作命第五號

独立歩兵第五大隊命令

十月廿六日
平野山ノ上

一大隊輸送計畫ニ基キ各隊軍需品及隊屬貨物輸送西新駐
部隊ヲ引継テ實施セトス

二遠藤大尉後發隊長トシテ別紙差出兵力ヲ付テ指揮シ前項任務ニ服
務セタル後トシテ速部隊ニ追及スル

三大隊本部及各中隊長別紙差出兵力ヲ明セヨク以降遠藤大尉
ノ指揮ニシテ

四輸送並申送ノ細部南ニテハ遠藤大尉ヲシテ指示セシム(省略)

大隊長

山本大佐

別紙 兵力差出區分表

隊別

隊別/分將 隊下士官

兵

21 43 21
14 4 3 2 1
14 4 3 2 1
14 4 3 2 1

14 4 3 2 1
14 4 3 2 1
14 4 3 2 1
14 4 3 2 1

14 4 3 2 1
14 4 3 2 1
14 4 3 2 1
14 4 3 2 1

南主計中尉
大竹曹長
小柴技術曹長
水野衛生伍長
井南伍長
兵中六兵長一ノ合ム

中隊作命 五松作命第三八號

松田中隊命令

十月廿六日
正

一大隊後發隊ノ編成軍需品及隊屬貨物輸送西新駐部隊ヲ引
継テ實施セシム

二中隊後發隊要員ヲ遠藤大尉ノ指揮ニシテ

三青木軍曹部下十名ヲ指揮シ明七日九時以降遠藤大尉ノ指揮
ニシテ

四後發隊編成裝備服裝其他細部之指揮班長ヲ指示セム
五予ノ桑江中隊指揮班ニ在リ

中隊長 松田中尉

精神訓話 六。八。三。時同指揮班前廣場於テ軍紀風紀刷新向上ニ関テ
ト題ニ中隊長訓示ス

教育 七。四。三。時同半高元少尉指導テ許軍紀教練ヲ實施ス
夕食後軍歌演習

準備 八宿舎整理借用物件返済等ヲ全部終了スルト共ニ環境整理爲メ

會 同九部隊本部於テ二。〇。〇。地方官民ヲ集合セシメ、會同實施セラルニ
付隊長一。〇。〇。出發五。〇。隊ス

支拂 桑江激粉工場ヲ始メ各宿舎、宿舎料支拂セラルニ付發田軍曹
一。〇。〇。本部ハ出頭受領支拂ヲ完了ス

先發 二。八。林口兵長以下三名先發隊トナリ。九。四。出發香椎中尉指揮、下二新

駐地ニ先行ス

勤務 桑江集積所監視 岩城兵長以下五名

日直 下士官 發田軍曹

日直 上等兵 小野上等兵

人馬現員 三人員 松田中尉以下七十三名



上首 桑江

日命 一。九。六。日命第四九號拔萃

三各隊ノ左記様式ニ基キ人馬覓表ヲ本七日十三時迄提出ス

四、出前彈藥庫衛兵現任務ヲ續行、部隊出發以後後發隊長、

指揮ニ入レ

精神訓話 三、配備変更停兵覺悟ニ関シ二四。〇。約三。分隊長精神訓話實施ス

津 備三八。各小隊共全部下山輸送。置別荷物梱包整理薪集

積實施

二〇〇リ軍裝検査ヲ實施ス

午後配當馬車ヲ受領車載以後仮眠休養

人馬二覽表 四戸九六命第三項三基幸左記人馬二覽表ヲ提出ス

左記 人馬二覽表

士月七日 杉田隊

區分	將校准官	下士官	兵	計	馬匹	桶	要
總員	三	一四	六二	七九			
後發者	〇	一	一一	一二			
行軍不能者	〇	〇	〇	〇			
其他	一	一	五	七			
行軍	二	一二	四六	六〇			
計	三	一四	六二	七九			

青木軍曹以下
十二名

山本軍曹以下
十三名
多田中尉以下
十三名
深井一等兵
一名

設営者 五浅井等兵部隊大休息地、設営爲先行九三。出發ス

勤務交替 六。九。桑江軍積所監視、後發者青木軍曹以下士名ニ申送り交代ス

出 發 七。松本命令第三八號ニリ中隊ハ出發準備ヲ完了ス八三。桑江馬場南側

廣場ニ集合、後桑江前四三三前進一九三。部隊主力、来着ト同時

ニ其行軍序列入り出發ス

勤 務 八勤務員 日直士官 箕田 軍曹

日直上等兵 小野上等兵

人馬現員九人員 松田中尉以下六士名



前川

戦 備 一〇三三。ヨリ丙號

行 軍 二九三。桑前十字路出發部隊縦隊、本隊トリ桑前北谷、伊佐一

一、收港一撤間、仲西泊牧志、經由二、四、國場、到着該地、於テ
 大休、先行設會、有淺井等兵ヲ指揮、復ス
 〇四、該地出發、神里一稻嶺、經富名腰、東方本道、上於テ部隊長、
 指揮ヲ脱、六五目的地前川、到着ス

日 命三石九六日命第五〇號

一、部隊衛兵ヲ本八日六〇〇リ、左順序ニ服務スル

左 記

- 一、奈良良隊
- 二、天倉隊
- 三、浅尾隊
- 四、松田隊
- 五、直轄小隊
- 二、部隊輸送荷物卸、下集積、連絡所ヲ稻嶺、取用設ス
- 三、各隊、右要員トシテ、左通り、兵力ヲ明九日早時迄、本部差出スル

左 記

- 一、第四隊ヲ將校一
- 二、本部各部、各中隊、ハハ小隊、下士官一兵二

四、第四隊ヲ出スル將校、各隊、兵力ヲ指揮シ、明九日正午迄、三稻嶺、取
 二、到リ、連絡所ヲ用設、荷物卸、下集積、任スル

- 撤去時期、別命ス
- 五、服帳、軍帳ニシテ、背囊、被甲ヲ除キ、晝食、携行スル
- 六、給養、携帶、口糧ニ依ル

中隊日命四、松日命第五〇號

- 陸軍少尉 高元榮一
- 陸軍伍長 川口敬一
- 陸軍中兵 松井平治
- 陸軍中兵 白井秋男

右、右部隊、稻嶺、荷物卸、下集積、所、勤務、命令ス
 依、而、明九日、三、三、同、取、到、リ、高元少尉、各中隊、部隊、ヲ、出、ス、レ、下
 士官以下、指揮シ、連絡所ヲ用設、荷物卸、下集積、任スル

細部口達指示ス

作 命 五 五 五 作 命 第五三號

独立歩兵第十五大隊命令

二月八日、六三〇
富名腰

一 大隊新防衛地區内宿營ニ新作戰態勢ヲ轉移セントス

二 大隊本部各隊ノ設営者ノ誘導ニ依リ別紙要圖ノ如ク宿營ニ新作戰態勢ヲ轉移ス

三 第三中隊(東)ニ對空監視哨(長以下五名)ヲ193高地武部隊對空

監視所ニ差出シ對空監視任ゼムルト共ニ自勤繼承ヲ準備ス

四 第三中隊(東)奥武島南海岸ニ對海監視哨(長以下五名)ヲ配置シ

對海監視ニ任ゼムル

五 通信班ハ速ニ大隊本部ト對空對海監視哨及各隊間有線通信ニ

任ス

六 諸勤務ニ関シハ別命ス

七 給養携帶口糧ヲ使用ス

八 予ハ富名腰末端ニ在リ

大隊長

山本大佐

中隊作命 六 松林命第三九號

松田中隊命令

二月八日、七〇〇
前川

一 大隊新防衛地區内宿營ニ新作戰態勢ヲ轉移ス

二 中隊新防衛地區前川區宿營ニ新作戰態勢ヲ轉移セントス

三 指揮班各隊ノ設営者ノ誘導ニ依リ別紙要圖ノ如ク宿營ニ速ニ

新作戰態勢ヲ轉移ス

四 諸勤務ニ関シハ別命ス

五 予ハ前川事務所ニ在リ

中隊長

松田中尉

作 命 七 五 五 作 命 第五三號

独立歩兵第十五大隊命 十一月九日 富名腰

- 一 本台。三。丙號戰備下令セリ
- 二 大隊。速。丙號戰備。態勢。轉移セントス
- 三 第三。第三隊。夫々。高地。對空監視哨。及。奥。島。對海監視哨。兵力。増強。對海。對空監視。ヲ。嚴。シムヘシ
- 四 各隊。早。五。作。命。第三。號。別。紙。戰。備。度。南。之。規。定。準。據。スル。外。特。左。記。事。項。ヲ。當。意。スヘシ
- 一 退。避。壕。ヲ。速。ニ。調。査。シ。待。避。ヲ。準。備。スヘシ
- 二 偽。裝。遊。敵。之。撒。底。ノ。兵。器。彈。藥。資。材。ハ。カ。メ。ヲ。掩。蔽。ト。シ。分。散。配。置。スヘシ
- 三 連絡。施設。不。十分。ナル。府。各。隊。毎。ニ。對。空。監視。ヲ。嚴。シムヘシ
- 五 予。ハ。富。名。腰。東。端。ニ。在。リ

大隊長 山本大佐

中隊命令 八松隊命令第四號

松田中隊命令 十一月九日 前川

- 一 本台。三。丙。號。戰。備。下。令。セ。リ
- 二 中隊。速。丙。號。戰。備。態。勢。轉。移。セ。ン。ト。ス
- 三 森林。兵。長。六。四。名。ヲ。率。テ。對。空。監。視。哨。ト。ナ。リ。以。高。地。ニ。位。置。シ。特。ニ。對。空。敵。機。ヲ。嚴。シ。ム。ヘシ
- 四 宿。舎。圍。周。邊。及。陣。地。附。近。ノ。壕。ノ。狀。態。ヲ。調。査。シ。待。避。ヲ。準。備。スヘシ
- 五 偽。裝。遊。敵。疎。用。ニ。關。シ。テ。ハ。前。命。令。ニ。シ
- 六 細。部。ハ。指。揮。班。長。ヲ。テ。指。示。セ。シム
- 七 予。ハ。前。川。事。務。所。ニ。在。リ

中隊長 松田中尉

命令 九月五號命令第五號 獨立歩兵第十五大隊命令 十一月九日 富名腰

各隊長に記順序より陣地構築ヲ進備スル

七 記

八 甲號戦備

應急戦備ヲ採リ得ル如ク中隊全員より取敢ル既設陣地ニ
配備シ防衛ノ戦闘要領ヲ教育スルコト

九 既設陣地ノ検討

先般示レル防衛戦闘指導要領ニ基テ對抗演習ヲ毎日施シテ
陣地ノ特徴ト缺陷トヲ觀察スル事

十 陣地構築計畫

第三項検討ニ基テ陣地ノ補修ト増強並新設トヲ計畫スルコト

十一 陣地構築 工事開始

六日課予定尤如シ

大隊長

中隊長

九日 上下陣地偵察並指導

陣地 偵察

十日 上下陣地偵察並指導

右 同

十一 上下陣地偵察並指導

甲號配備及對抗演習

十二 上下陣地偵察並指導

右 同

十三

計畫立案

十四

計畫提出

十五

検討

十六

工事開始

二十一日 富名腰東端ニ在リ

大隊長

山本大佐

中隊命令 一 松田命令第四號

松田中隊命令

五月廿八日
前 川

一中隊 左記順序より陣地構築ヲ準備セシメ

左記

一 甲號戰備

第一小隊中支央中央高地第二小隊右支央前川北方高地第三小隊左支央當山西方高地陣地を占領スレ

二 既設陣地檢討

中隊別紙週面予定表(有略)を基に攻防戦闘を實施ス

三 右三休各小隊毎陣地特質及欠陥を精査し士目より報告スレ

四 工事開始時期を定ム

五 予前川事務所を在リ

中隊長 松田中尉

精神訓話

二 中隊長 一〇〇〇一、二〇〇〇 向第四回大詔奉戴目を以て方りし題に精神訓話を實施ス

整 備 二 水日兵器被服手入及宿舍清掃を實施ス

給 養 三 夕食を携行糧秣を使用し飯炊事を作業

飯 隊 四 部隊到着と同時に先発者多由見習士官以下六名飯隊ス

勤 務 五 勤務員 對空監視 赤林口兵長以下五名

日直士官 高元少尉

日直下士官 山來軍曹

日直上等兵 齋藤上等兵

人馬現員 六人員 松田中尉以下六十七名



日 前 命

二 丙 號 二 后 九 六 日 命 第 五 號 技 萃

二 第 四 中 隊 陸 軍 上 等 兵 中 村 熊 男

右者第一期軍大基本教育終了セシ以テ原所屬ニ復皈ヲ命ス
依而明朝食後所屬復皈ス

陣地偵察
二。八。三。多田見習士官司令率下二分隊長以上各小隊擔任陣地、偵察實施附近地形地物暗識ト共担任陣地、位置隣接陣地ト、關係射向等、實地研究ヲ行フ。級隊

整備
三。炊事場、設備ヲ始メ其他整備從事ス
出發
四。高木中尉以下四名箱積運送荷物卸集積運送所開設及勤務、爲。八。三。出發ス

勤務
五。勤務員 對空監視 白出伍長以下五名

日直士官 多田見習士官

日直下士官 山來軍曹

日直上等兵 齊藤上等兵

松田中尉以下 六十三名

人員現員 六人員

五月十日晴

戰備 丙號

日命 二。九。六。日命第五號技卒

三。第四中隊 陸軍上等兵 杉原武治

右者陸軍兵長ヲ命ス

四。第四中隊 陸軍一等兵 白井宗助

同 同 大西周太郎

右者陸軍上等兵ヲ命ス

教育訓練
三。八。三。演習甲號戰備下令、狀況ニ中隊全員配置ニツキ陣地ニ関

ス長短所性能ニ関シ研究ス。二。三。級隊

四。多田見習士官、指揮ニ依リ陣地偵察ニ出發セ。異狀ヲ級隊ス

中隊級計
四。中村上等兵師團ニ於テ軍大基本教育、爲人當中處終了。中隊復皈ス

戰前	音吉 月晴	人馬現員 八人員	勤 務 七勤務員	運 搬 六箱 願 取 荷 物 運 送 所 予 山 中 兵 長 馬 車 三 輛 以 予 梱 包 運 搬 當 中 隊 予 馬 場 伍 長 以 下 六 名 輜 重 車 車 以 予 同 取 予 梱 包 運 搬 從 事 又	配 屬 五 撥 関 銃 中 隊 前 田 軍 曹 以 下 十 名 當 隊 配 屬 為 到 着 第 二 小 隊 西 隣 接 尾 曲 三 宿 營 又
戰 備	丙 號	松田中尉以下 七十三名 內配屬 十名	對空監視哨 岩城兵長以下五名 日直士官 多田見習士官 日直士官 上等兵 前日 二同		

日 命	二石九六日命 第五三號 技 華	陸軍大佐 山本信輝
	一石第三五九六部隊長	
	補中部第三十八部隊長	
	二石第四八〇部隊副官	陸軍少佐 飯塚豊三郎
	補石第三九六部隊長	
	陸軍曹長	加藤通明
	陸軍兵長	中西芳文
	陸軍上等兵	小野則生
	陸軍上等兵	森井齋吾
	右者死致者(末木曹長)屍体收容為本十日(海言)予定以予	
	沖繩陸軍病院 出張 命 又	
作 命	三石五作命 第五六號	
	独立步兵 第五六隊 命令	土月 十五日 五四〇 富名 腰

中隊作命
四松作命第四三號

- 一 稻嶺中央側高地附近に集積中隊部隊彈藥ハ五三ノ頃ヲ爆發
中ニテ稻嶺駅集積中隊部隊彈藥モ亦危険ニ頻ラマリ
- 二 大隊直士兵カラ派遣シ稻嶺駅集積中隊部隊彈藥資料防護
ヲ實施セントス
- 三 各隊長(配屬部隊除キ)連立ニテ隊(將校以下ヲ名)ヲ稻嶺東北
ニ〇米ノ宇路ニ急派シ三輪大尉ヲ指揮シラシムレ
- 四 服装徒ヲ帶鉄帽携行トス
- 五 三輪大尉ノ前項兵力並稻嶺連絡所高元ケ尉ヲ指揮シ稻嶺
駅集積中隊部隊彈藥資料防護ニ任セム
- 六 小松軍医中尉ヲ救護班編成シ稻嶺駅附近ニ急進シ救護ニ任セム
- 七 予ノ當名腰東端ニ在リ

大隊長 山本大佐

松田中隊命令

前 青吉一カ。川

- 一 稻嶺駅附近に集積中隊部隊彈藥ハ五三ノ頃ヲ爆發中ニテ同
地集積中隊部隊彈藥モ亦危険ニ頻セリ
- 二 大隊集積彈藥資料防護ヲ為シ兵力ヲ該地ニ派遣ス
- 三 中隊ハ速ニ部隊ヲ派遣シ前項任務ニ任セムトス
- 四 多田見習士官ハ直士左記兵力ヲ指揮シ稻嶺駅東北ニ〇米ニ急行
三輪大尉ヲ指揮シ入ル
- 五 各小隊(班)長連立ニテ前項兵力ヲ多田見習士官ヲ指揮シラシムレ
- 六 服装徒ヲ帶鉄帽ヲ携行シ各小隊一名ハ銃銃帶劍トス
- 七 予ノ直士乘馬ニ依リ先ヅ現場ニ急行ス

中隊長 松田中尉

左記

指 兵四 衛生兵一

一	下士官一	兵四
二	下士官一	兵四
三	下士官一	兵四
MG	下士官一	兵四

教育訓練 五三三。演習非常時集下令全員配備シテ

友然レ一部ヲ以テ敵軍陣地ヲ占領セシメテ之ヲ攻奪シテ了

救 援 六五五大隊作命ヲ受領中隊長以下二十名一六三。稻嶺駆爆破現場

ニ救援ヲ為急行シ。全員無事収隊

来 隊 七奈良尉。高瀬准尉一。連絡ヲ為來隊四。収隊

小笠原中尉配宿状況及部若衛兵状況視察多シ。來隊一。収隊

収隊

死 破 八末木曹長上月三。沖繩陸軍病院於戰傷右肩胛部爆彈破

光劍)死ス

收 容 九加藤曹長以下四名死破有末木曹長屍体收容為三。卷八。収隊

(屍体未收容)

収 隊 一山本等兵入院有(末木曹長)附添為沖繩陸軍病院ニ出張中。處死

致付无。収隊

運 搬 二稻嶺駆荷物集積連絡所ヨリ松中等兵來隊馬車二輛以テ兵舎彈藥

將校行李薪等運搬ヲ為ス

勤 務 三勤務員 部隊衛兵 山田兵長以下五名

對空監視哨 水谷兵長以下五名

日直士官 加藤曹長

日直下士官七等兵前日同シ

入馬現員 三人員 松田中尉以下九名

内配屬十名



前川

戦備一丙號

日命二九六命第五號

一 第四中隊

陸軍等兵

前田睦生

右着暗號手トシ當分間通信班勤務ヲ命ス

三 明吉部隊隊長離任式施行ニ方リ左通り心配得ベシ

一 各隊配屬隊(含ム)ノ最小限(舎内監視ヲ残置スルモトス

二 編成ニ依リ銃砲中隊小銃編成トス

三 十時三十分迄三城國民學校々度ニ集合スルモトス

四 集合隊形ハ南面中隊縱隊ノ大隊横隊トシ大隊本部通信作

業一三三四五MGA初年共教育隊TASAノ順序トス

各隊間隔ハ六步トス

五 服装ハ儀式ニ於テ軍服ニシテ其裏ヲ除キ略綬佩用トス

雨天際ハ外套着用スルモトス

六 直轄小隊ニ式施行中隊ニ復取スルモトス

四 米ノ上ヨリ十四時ヨリ至城國民學校々度ニ於テ陸軍准尉末木長重以

下ニ程ノ慰靈祭ヲ執行ス

依而戸通リ心得ス

一 部隊指揮官ハ大本中尉トス

二 各隊ハ各級代表者ヲ第一第四隊ハ勤務ニ支障ナキ全員参加スルモトス

三 隊形祭壇正面ニ本部通信作業直轄小隊第四隊教育

隊各隊代表者ノ順序ヲ中隊縱隊ノ大隊横隊トシ隊間ハ六步トス

四 服装儀式場合軍服トシ略綬佩用トス

五 第四隊ヲ儀仗衛兵トシ下士官指揮スル三名(一隊)差出ス

六 各隊喇叭手全員九三〇迄式場ニ差出シ部隊指揮官指示ヲ受

ケレン

〓慰靈祭當ノ業務分組及式次第ハ左ノ如キニ依リテ依リテ但シ祭主ヲ輪大尉トシ各員長ヲ松中尉トシ變更ス

中隊日命

三哲命第二品號
一明後十日故陸軍曹長末木長重以下三柱慰靈祭執行セリ依テ左記者儀仗衛兵トシ服務ス

左記

- 陸軍曹三浦茂 陸軍兵長岡本大平 陸軍兵松石越男
- 陸軍兵里田光 陸軍兵小野則生 陸軍兵森井有吾
- 陸軍兵田村正義 陸軍兵安川正春 陸軍兵龍仙甫治
- 陸軍兵志森山清栄 陸軍兵西園大 陸軍兵柴田史郎
- 陸軍兵三林 正

教育訓練

四日前陣地附近ニ於テ左支隊防禦實施多見習士官指導す

四〇〇一六〇多見習士官指導 防禦地ノ性能ノ斷ニ隊戦ノ要領ヲ示シ

收容

五加藤曹長以下七名七〇出發江越陸軍病院ニ出張故末木曹長ノ屍ヲ收容シ六〇隊ス

安置

六部隊營幕舎内ニ屍ヲ安置シ馬場伍長以下五名屍衛兵ニ服務ス

運搬

七〇九〇岩城兵長以下五名輸車ヲ以テ稻嶺駅ニ新運搬ニ行キ。隊

勤務

八勤務員 對空監視哨 王村兵長以下五名

屍衛兵 馬場伍長以下五名

日直士官 吉田曹長

日直下士官 乙部伍長

日直上等兵 中村上等兵

人馬現員

九人員 松田中尉以下七十四名

内配屬 十名



前川

戰備 一〇五〇迄丙號

作命 二石作命甲第六號

本言早時平分丙號戰備解除

師團長

教育訓練

三ヶ月前のヨリ中隊廣場集合体操ヨリ陣地ニ於テ不着地ニ於ケル
刺突加藤曹長指導

離任

四部隊長山本大佐離任ヨリ本官の九ヨリ玉城國民学校ニ於テ同官離任
式舉行セラル

會食

中隊長以下由名列席ニ。終了加藤曹長指揮ニ依飯隊又
出席一五〇飯隊又

火葬

六〇七ヨリ部落西端ニ於テ中隊長以下全員参列下故木木曹長ノ屍ヲ
荼毘附ス

骨拾

七六ヨリ隊長以下全員参列下故木木曹長ノ骨拾ヲ実施遺骨ヲ指
揮班安置シ岡本伍長以下五名遺骨衛兵トシ服務セラル

使役

八〇田等兵以下三名明土曾慰靈祭ノ場整備爲四〇本部ニ出発
一七三〇飯隊又

運搬

九ヶ榎上等兵馬車三輛ヲ以テ彈藥兵器及新運搬又
診断 本員診断結果山本等兵脚氣ノ疑ニ劇務休

勤務

二勤務員 遺骨衛兵 岡本伍長以下五名
日置曹長下士官上等兵 前日同ノ

人馬現員

三人員 松田中尉以下七十四名
内配属 十名



十首曹長
前川

教育訓練

一、八〇〇ヨリ中央廣場於テ軍紀教練及真銃刺突。九〇〇終了

午後兵器被服及荷物整備ヲ実施ス

慰靈祭

二、三〇〇ヲ故陸軍曹長木木長重故陸軍上等兵比野六郎、慰靈祭
執行ス

中隊九三〇出發二〇〇取隊

三浦軍曹以下十三名儀仗衛兵トシテ式間服務ス

慰靈祭ニハ支團長有川部隊長臨席アリ、注意嚴シキ且盛大ナリ

出 発

三佐藤等共桑江荷物集積所連絡ヲ為。九〇〇出發
一等兵桑江荷物集積所勤務中、前田等兵ト交代ヲ為、歸出發

勤 務

四勤務員 日直士官、日直下士官、二等兵、前日直
人馬現員 五人員 松田中尉以下七十三名

内配屬 十名

前川
日 命

一、九六日命第五七號

一部隊長飯塚少佐殿册ヲ着任セシ

依布互通心傳ル

ノ將校(配屬隊將校ヲ含ム)本部通信作業直轄小隊ハ〇〇〇

迄三三城小學校各門前ニ出陣、爲警備列ヲ完了スルモトス

二、出陣(タル後將校ハ北側校舎於テ部隊長ニ對シ挨拶ヲ行フ)

三、挨拶終了後東側校舎於テ訓示ヲ行フ

四、服隊儀式場合於テ軍懷トシ略綬佩用トス

二安末木曹長故比野上等兵遺骨ヲ放陣迄護送シ爲左記

通り兵力ヲ册十五百。七四。迄本部ニ着出し副官ヲ指示ヲ受ケルハレ

左記

第甲隊兵三、第甲隊下士官一、兵二